

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社、九州電力株式会社等との面談

2. 日時：令和2年8月25日（火）13：30～16：40

3. 場所：原子力規制庁 16階 A会議室（オンライン開催）

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田検査評価室長、笠川室長補佐

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 深沢技術研究調査官、下崎技術研究調査官、  
伊東技術研究調査官、濱口技術研究調査官、  
小城技術研究調査官、川口技術研究調査官

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネジャー 他2名

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他2名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他2名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当課長 他4名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 課長

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他5名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級特別契約研究員 他2名

#### 5. 要旨

- (1) 本年7月30日の面談に引き続き、関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）及び九州電力株式会社（以下「九州電力」という。）は、大飯発電所3／4号機及び玄海3／4号機のレベル1.5確率論的リスク評価（以下「PRA」という。）モデルの質問事項に対する回答について、配布資料（1）及び配布資料（2）

に基づき説明した。また、原子力規制庁は、関西電力及び九州電力からの質問の回答において、より詳細な説明が必要なものについては、引き続き面談で確認していくこととした。

- (2) 本年1月30日の面談に引き続き、原子力規制庁は、配布資料(3)に基づき、伊方発電所3号機のレベル1.5 PRAモデルに関する質問事項(その2)について説明した。四国電力株式会社(以下「四国電力」という。)は、質問事項(その2)を回答していくこととした。今後、四国電力の回答において詳細な説明が必要なものについては、原子力規制庁は継続して面談で確認していくこととした。

## 6. 配布資料

- (1) 大飯3/4号機レベル1.5 PRAに関する質問回答(関西電力資料)
- (2) 玄海3/4号機レベル1.5 PRAに関する質問回答(九州電力資料)
- (3) 事業者レベル1.5 PRAモデル(伊方3号)の適切性の確認のための質問事項(その2)(原子力規制庁資料)